

4月 ギャラリー& 県民講座

あびこ市民プラザ
 ◆手賀沼と民藝の心展Ⅱ
 日18日(土)～29日(祝)10時～18時
 費1000円(高校生以下無料)
 問手賀沼アート・ウォーク実行委員会 ☎7146-6800

図書館 1日(水)～30日(木) 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
 湖北台分館ミニギャラリー
 ◆きり絵&水墨画展 石川孝・吉田華宇
 布佐分館ミニギャラリー
 ◆障害者福祉センター絵画展 障害者福祉センター

アピスタストリート(中央通路)
 開館時間：9時～21時 休館日：27日(月)
 ◆公民館学級PR展示
 日～13日(月)
 問生涯学習課 ☎7182-0511
 ◆嘉納治五郎像ができるまで
 日15日(水)～28日(火) (初日12時～、最終日12時まで)
 問文化・スポーツ課 ☎7185-1583
 ◆梶野完二油絵展
 日29日(祝)～5月9日(土) (初日11時～、最終日16時まで)
 問梶野 ☎7185-1700

けやきプラザ 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
 第2ギャラリー
 ◆加遊画展(油彩)
 日7日(火)～12日(日)9時～17時(初日13時～、最終日16時まで)
 問木村 ☎7139-4671
 ◆高野和 写真展
 日14日(火)～19日(日)9時～17時30分(初日12時～)
 問シラツユ ☎7146-7676
 ◆ビーズフラワー作品展「ビーズフェアリー」
 日22日(水)～26日(日)10時～17時
 問細川 ☎7183-6585
 第1・2ギャラリー
 ◆第12回 ゆうかり絵画工房展
 日28日(火)～5月10日(日)9時～19時(初日13時～、最終日15時まで)
 問乗松 ☎7187-7680

アピシルベ 問 ☎7100-0014
 開館時間：9時～18時
 ◆あびこの桜いろいろ 2020
 日～10日(金)
 ◆我孫子市美術家協会展PR展示
 日1日(水)12時～15日(水)
 ◆あびこのおみやげ買えるうなぁ！
 日11日(土)～16日(木)
 ◆アピストリーム「アピスト de Night☆」LIVE放送
 日17日(金)18時～19時
 ◆我孫子らーめん紀行展第2弾
 日20日(月)～30日(木)

けやきプラザ県民講座・講習
 ◆人生100年時代を生きる知恵「悪徳商法のもたらすもの」
 日15日(水) 講師木村清一さん(東京大学高齢社会総合研究機構)
 ◆よさこいソーラン踊りで転倒予防
 日22日(水) 講師藤崎成吾さん(柏健康ソーラン倶楽部)
 (共通)時間13時30分～15時30分 所7階研修室 定60人

けやきプラザ県民講座・講習 問・問 電話で住所・氏名・電話番号を明示。千葉県福祉ふれあいプラザ ☎7165-2886 受講料 無料(要申込・先着順) 休館日 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日火曜日) ※専門職対象県民研修はホームページwww.furepla.jpをご覧ください。

【あびこeモニター募集中】
 皆さんの意見を市政に反映させませんか?市政運営の参考にするため、市ではeモニターを随時募集しています。詳しくは市ホームページまたはお問い合わせください。
 問 秘書広報課 ☎7185-1714

～7月1日は市制施行50周年です～
50と50は
市制施行50周年記念の事業です

ミュージアム・インフォメーション
問 鳥の博物館 ☎7185-2212

テーマトーク
月夜のドライブは要注意
～アマミヤマシギの交通事故について～
 日時 4月18日(土)午後1時30分～2時15分(1時15分開場)
 場所 鳥の博物館2階多目的ホール
 内容 奄美群島の固有種アマミヤマシギは森林性のシギ科鳥類です。昼間は森の中にいてめったに見かけません。しかし、夜になると道路のような開けた場所に出てきます。そのため交通事故に遭いやすいのですが、不思議なことに事故件数は月夜に増加します。アマミヤマシギの生態を調べ、この謎に迫ります。
 講師 水田拓さん(山階鳥類研究所保全研究室長)
 定員 先着50人 費用 無料(要入館料)
 入館料 300円(高校・大学生200円、中学生以下・70歳以上無料)



▲夜の路上にたたくアマミヤマシギ

令和2年度「てがたん」

「てがたん」は鳥の博物館前に広がる手賀沼の自然や生き物を楽しむ自然観察会です。毎月テーマを決めて、季節の見どころを紹介します。
日にち・内容 下表参照※雨天中止
時間 午前10時～正午(受付10時まで)
集合 鳥の博物館玄関前 **費用** 100円(中学生以下無料)



日にち	テーマ	日にち	テーマ
4月11日(土)	鯉の恋の季節	10月10日(土)	「赤とんぼ」を探そう!
5月9日(土)	ツバメの子育て	11月7日(土)・8日(日)	てがたん in JBF
6月13日(土)	戦国武将の家紋を探そう!	11月14日(土)	鳥と樹木の「持ちつもたれつ」
7月11日(土)	これを食べたのは誰?～食べあとから生き物を探そう～	12月12日(土)	白黒つけよう! 2種のセキレイ
8月8日(土)	てがたん樹木検定・夏編	令和3年1月9日(土)	もっと知りたいユリカモメ
9月12日(土)	生きものたちの「護身術」	2月13日(土)	てがたん樹木検定・冬編
		3月13日(土)	てがたんしりとり

鳥の博物館・白樺文学館・杉村楚人冠記念館
3館共通券の料金に変更
新料金 500円(高校・大学生は400円のまま)
 ※購入から1カ月間有効
問 鳥の博物館 ☎7185-2212、教育委員会文化・スポーツ課 ☎7185-1583

白樺文学館・杉村楚人冠記念館
2館共通年間パスポートを新設
 購入から1年間、何度でも入れる2館共通年間パスポートを新設しました。ぜひご利用ください。
費用 2000円
問 教育委員会文化・スポーツ課 ☎7185-1583

あびこ散策 96

鮮魚街道 都10の3

みなさん、こんにちは。今回は都の交差点から国道356号沿いを西に行き、1本目の十字路を右に曲がると右手に見える観音堂に行ってみましょう。観音堂は、かつて銚子から舟で運ばれてきた魚を布佐河岸で下ろし、松戸へと荷物を運ぶ道の起点になった場所です。

江戸時代、銚子から江戸に魚を早く届けるため、夕方銚子を舟で出た魚は、翌早朝に布佐で陸揚げされ、ここから一頭の馬で、松戸河岸まで約28kmを6時間かけて向かいます。昼に松戸河岸に着くと再び舟で江戸川を下り、江戸日本橋の魚河岸に夕方から夜に魚を届け、翌朝のセリに間に合わせました。

鮮魚街道は、正徳6(1716)年ごろには陸上輸送を最短で行うために成立していたことが、当時の訴訟から分かります。訴訟内容は、近隣の異なるルートとの利権争いで、新しくできた鮮魚街道の正当性を問われるものでした。結果、旧来のルートでは数頭の馬で運搬するため、魚を乗せ替える際に損傷してしまうことを理由に、布佐河岸から松戸河岸までの鮮魚街道の正当性が認められました。

観音堂には、輸送業の助けとなった馬を供養するために馬頭観音が祭られています。「よいものをより早く届ける」昔の人もいまの人も変わらない気持ちなのが見えます。

▲鮮魚街道のはじまりに建つ観音堂